



平成28年7月22日

各 位

会 社 名 大王製紙株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 佐光 正義
コード番号 3880 東証第一部
問 合 せ 先 エネルギー企画部部長代理 藤田 卓
TEL 0896-23-9068

バイオマス発電設備の増強について

大王製紙株式会社はバイオマス発電設備を増強し、再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT制度）を利用して電力販売を行います。

当社三島工場（愛媛県四国中央市）では、従来より、クラフトパルプ製造工程で発生するパルプ廃液（黒液）を黒液回収ボイラーで燃焼させ、エネルギー回収するバイオマス発電を行ってまいりました。今回、そのノウハウを生かし、同工場敷地内に最新型の黒液回収バイオマスボイラーを新設し、発電した電力をFIT制度により電力会社に販売[※]する予定です。

新設する黒液回収発電設備（発電能力:61,000kW）は、従来と比べてエネルギー効率を約5%改善することのできる最新鋭の設備を採用します。これにより、25,000t/年のCO₂削減に寄与します。

今後も大王製紙グループは、再生可能エネルギーの有効利用を通じて、環境負荷低減の取り組みを継続していきます。

なお、本件に関する資金のうち、昨年9月に発行した2020年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債で調達済みの額を超える部分については、借入金等による調達を検討しておりますが、当社が第2次中期事業計画で公表しております経営目標に変更はありません。

《 事業の概要 》

総工費	約210億円
売上高	約70億円
発電能力	約61,000kW
事業開始時期	平成31年度

※今回発電する電力の送電系統への接続手続きについては、現在、四国電力株式会社と検討・協議中です。

以 上